

第2回 学校生活・児童ケア部会 会議報告

日 時：平成26年12月4日（木）
午後7時～8時20分 602会議室

○次第

- 1 第3回統合推進委員会の報告等
- 2 前回部会のまとめ
- 3 意見交換
(配布資料)

次第、名簿、学校統合推進委員会の組織体系と役割、学校統合推進委員会だより（3号）、第1回部会会議報告、3校行事予定一覧、学用品等準備品一覧、日課表一覧、学校のきまり、運動着価格表、佐久穂町における統合事例

○事務局からの説明

- ◎第3回学校統合推進委員会の状況報告
- ◎前回のまとめについて報告、部会の役割と会議の進め方の再確認

○部会で確認した内容

- ◎この部会で扱う内容の再確認
 - ・物・人・事・きまり・お金の5項目に整理して検討する。

○部会で出された主な意見

●事（学校行事）

- ・あかしあ窯は歴史のある取り組みで、大事な教育活動の一つ。現在地での存続や移設が困難だとしても、新設して活動を継続してほしい。

●物（学用品等）

◇学用品等（別紙資料参照）

- ・学校で用意するもの、家庭で用意するもの、入学後に購入するものについて仕分け。統一可能なもの又は統一が望ましいもの、統一が難しいもの又は統一が必要ないもの、保護者等の意見集約、検討が必要なもの、について一覧表にして整理。

◇名札

- ・現在、神明小学校のみ名札着用。岡谷小学校と田中小学校は名札なし。保護者、教職員ともに意見として、負担額もそれほど大きくない。新しい友達づくりや早く仲間の名前を覚えるためにも、名札着用の方向で統一してはどうか。

◇運動着（佐久穂町の事例を資料に基づき説明。）

- ・新たなデザインの運動着を指定し、買い替えの際に新たなものを購入し、徐々に変更していく混在スタイル。数年間は4種類の運動着が混在することになる。
- ・今回の統合に伴う運動着の課題解決策は2つ。
各学校の現在の運動着を使用する。買い替えの際に新たなものに買い換える。
 - ① 指定運動着（推奨品）を廃止。
 - ② 新たなデザインの運動着を導入。
- ・指定品がなくなると高価なブランド品や華美な服装となることが考えられ、規制が

難しくなる。

- ・指定（推奨品）運動着があった方が保護者も楽である。
- ・デザインも素材も古い感じがする。もっと安くて良い素材のものに変更、又は廃止。
- ・家庭により意見はさまざま。しばらくは混在でも良いのではないか。
- ・神明小学校と田中小学校では状況が違う。

◇帽子

- ・神明小学校は入学時に黄色の帽子を斡旋（指定ではない）。
- ・黄色の帽子だと低学年児童とわかり安全であるが、その反面、低学年児童だとわかってしまい危険な面もある。
- ・岡谷小学校、田中小学校は特に指定はしていないが、安全面から帽子を着用するよう指導している。
- ・黄色の帽子にこだわらず、色、形等は家庭で選択する方向で良いのではないか。

●きまり、お金・・・時間不足により次回協議（直ぐに決める必要がないため）

◎児童ケア

- ・障がい、アレルギーのある児童については、丁寧な配慮や対応が必要。
- ・子どもは柔軟なので、大人が心配するほどではない、という意見がある一方で、女子児童（特に高学年）が不安という意見もある。
- ・事前交流、職員間の連携、3校で子どもの見方を統一していくことや岡谷小学校の教職員が統合校（神明小、田中小）に再配置されることを大事に考えたい。
- ・来月（平成27年1月）から3校合同の職員会・同学年会を開催する予定。
- ・保護者の心構えとして、親が不安を先導するのではなく、明るい希望を持って子どもに接することが大切。